

ごみのうめたて

燃えないごみは、喜多方市営の
不燃物処理場に運ばれます。粗大
ごみ（テレビ、冷蔵庫、洗たく機、
自転車、家具など）は、村の人が
直接この処理場に運ぶことにな
っています。

この不燃物処理場は、あと数年
たつといっぱいになり、使うこと
ができなくなるそうです。



▲不燃物処理場（小田高原）

みんなの協力 ごみをしよりするためには、お金がかかります。平
成2年度には、約480万円のお金を村が負担しました。このままごみが
増え続けると、ごみ処理にかかる費用もどんどん多くなり、また不燃
物処理場も足りなくなっていくます。（すでに、ごみを捨てる場所のな
くなった地域の人が、勝手に村にごみを捨てにきているという事件も
起きてしまっています。）



▲ごみを捨てられた枋窪沼周辺

ごみの中には、まだ使える物が
たくさんあります。村では、平成
3年の9月から、ごみの分別収
集を始めました。空きびんや空き
かんは燃えないごみと区別して出
してもらい、再利用できるように
しています。これからは、みんな
で協力し、村全体でごみをへらす
努力をしなければなりません。